



寄居ロータリークラブ YORII ROTARY CLUB 会報



R.I.会長
ステファニーA.アーチック
第2570地区ガバナー
五十幡 和彦
第4グループガバナー補佐
柴崎 猛

令和6年9月11日(水)
会場 Spark (寄居町商工会)

第2741回例会

司会 高倉 隆綱さん (SAA)
点鐘 松本 幸男会長 (12:30)
ソング 奉仕の理想

1. 会長の時間

松本 幸男さん

皆様こんにちは。毎日暑い日が続います。同じことばかりお話ししますが、まだまだ暑い日が続くようですね。水分を十分に取って熱中症にならないよう気をつけていきましょう。

先日9月7日は、財団セミナーでした。世界平和のために、目標1人210ドルの寄付をお願しますということでした。寄居ロータリークラブは、183ドル寄付しています。少々目標に届いていないのですが、努力義務ですのでこの金額でいいと思います。この183ドルは他クラブと比べても低い方ではないです。ただ210ドルという目標の中で、205ドルとか206ドルというところがあるのですが、そういうクラブは、四捨五入されて210とみなされているという話があったので、そうすると183ドルなので、あと22ドル、1人約3000円ぐらいだなと思い、今後また理事会等で協議していくかもしれません。よろしくお願ひします。

昨日は地区大会記念チャリティーゴルフが熊谷ゴルフ俱楽部で行われました。柴崎ガバナー補佐、津久井さん、鈴木さん、坂本さん、そして私松本で参加してきました。とにかく暑い日で、鈴木さんは2Lの大きい水筒を持ってきていました、それを2杯分4Lは飲んでいたかと思います。坂本さんも500mlの水稻を飲み干しては、新しいペットボトルを買って入れるというのを繰り返していました。津久井さんは常にポットを持ってくるのですが、毎回毎回ゴルフ場に忘れるということで、今回は持っていないでした。私もペットボトル2Lぐらい飲みました。そのぐらい暑い中、他クラブとたくさん交流を持ち、楽しく行ってきました。成績の方は・・・皆さん後で各自確認でよろしくお願ひします。以上報告となります。

続いて、本日の卓話者加藤裕司さんについて少しお話したいと思います。ネットで、加藤裕司さんを検索すると、

残念なことにあまり出てきませんでした。いやそんなことはないと思い、加藤さんのことをずっと調べているうちに検索する名前が正しくないことに気が付きました。加藤東陽先生と検索すると、これがまた写真やら何やらが急にドバッと出てきまして、そうだよねと思いながら、何だか良い気分なり、どんどん調子に乗って調べてきましたので、一部ですがご紹介します。順不同ですが、まず元文部科学省教科調査官、東京学芸大学名誉教授、これは皆さんご存知ですね。すごいですね。全日本書写書道教育研究会会长、日本武道館書道大会の審査リーダー。本当すごいです。また一般社団法人日本書字文化協会の中央審査委員、審査委員長。日本書道教育協会の編集代表。そして読売書法会。先日行われたそうですが、和洋女子大学の夏季公開講座（書道）50周年記念講演会でパネルディスカッションのパネリストを加藤先生が行っていました。調べるとパネリストとしてお話ししている姿の写真も載っていますので、後で検索してみてください。まだ続きます。日本書道美術館特設講座 書道大学講師。日展会友（日本美術展の特選受賞者または1958年以降に10回以上入選した人）となっています。そして、千紫会の理事長。この会もすばらしい会です。いろいろ調べてみると本当にたくさんの団体でご活躍されていて、私がそれぞれの内容を詳しく話をするのはおこがましいので、皆様で検索し確認してもらえたると思います。寄居ロータリークラブにこのような素晴らしい方がいるということを誇りに、更なる楽しい寄居ロータリークラブへ大きく前進できるよう、一致団結して今後も頑張っていきましょう。以上です。ありがとうございました。



2. 幹事報告

下条 誠さん

皆様、改めましてこんにちは。昨日私は宅建協会の飲みがありました。洋食店の10人ぐらいのテーブル席で、シ



ヨルダーバッグを持っていましたが、ショルダーバックを置く場所がなかったので、自分の座っている席の後ろの床下に置いて飲んでいました。飲みが終わり、代行を呼んで家に帰りました。そしてショルダーバッグを床に置いたらG

(ゴキブリ)がバックを置いた下から急に出てきて、リビングを走り回り、そこに嫁と娘がきて、大変な騒ぎになりました。それを退治する騒ぎで、酔いも一気に冷めました。今後皆さんも飲食店へ行く際には、バック等を置く場所は床等には置かず、何か少し高めのテーブル等に置いた方が良いと私も54歳にして、改めて飲食店の床にバックを置いたら駄目だということを勉強しましたので、今後の注意喚起も含めて皆様にお話しました。あまり気持ちの良い話ではなく申し訳ありません。

それでは幹事報告をします。最初に、ガバナー補佐訪問が明日9月12日皆野長瀬、同行者は橋本則彦さんと吉田昌弘さんとなっています。続きまして9月17日秩父、同行者は森田淳一さんと権田功さんとなっていますので、どうぞよろしくお願ひします。

次に、先週も少し話しましたが1月12日の優良従業員表彰関係について。優良従業員の推薦書の注意書きを改めて見ましたら、会員の従業員に限らず地元で活躍されている方も推薦をお願いします、ということが書いてありましたので、先週と同じ内容ですが、従業員に限らず地元で活躍されている方も推薦してください。この推薦書に関しましては、必要がありましたら私が事務局の方に言ってください。

続きまして回覧の方ですが、1月3日のポリオデーについて先週も回覧しましたが、まだ記入していない方がおりますので、再度回覧します。

最後に先ほど会長の方からも話がありましたが9月7日に財団の研修会がありました。その財団研修関係からポリオプラス ソサエティの参加案内が届いております。このポリオプラス ソサエティというのは、ロータリー財団のポリオプラス基金に毎年、年間少なくとも100米ドルあるいは100米ドル以上寄付することです。希望される方は、こちらに参加申込書がありますので、記入等よろしくお願ひします。幹事報告は以上です。ありがとうございました。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会

山口 正彦さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
9月11日	37	8	29	1	81.08%
9月4日の修正出席率			83.78%		

(2) 会員慶事

銀婚祝 坂本 勝志さん



(3) ニコニコボックス委員会

荻野 真仁さん

松本 幸男さん 本日は待望の加藤さんの卓話です。心してお話を聞かせていただきます。楽しみです。 多めにいただきました
下条 誠さん 加藤さん、本日の卓話、とても楽しみにしておりました。勉強させていただきます。

松本 則之さん 加藤さん、卓話楽しんで聞かせていただけます。福島さん、栗、おいしくいただきます！

松本 則之さん 大谷翔平の45、46号分です。目標せ50-50。 多めにいただきました

吉野 泰久さん 先日のテレ玉で水天宮の放映があったそうで、私の恥ずかしい姿が映り込んでしまったようです。是非見えなかつたことにしてください。

佐橋 正行さん 加藤さん、卓話楽しみにしてます。

浅見 克一さん ひさしぶりの加藤さんの本格卓話。楽しみです。

小宮 俊光さん 加藤先生、久しぶりの卓話ですね！！一日千秋の思いで待ってました。良い話して少しほ自分を高めたいです！！

山口 正彦さん 加藤さん、本日も卓話楽しみです。

山口 正彦さん 前回欠席のため

鈴木 光則さん 加藤さん、卓話楽しみです。よろしくお願ひします。

柴崎 猛さん 加藤さん、卓話楽しみにしております。

柴崎 正さん 加藤祐司さん、卓話楽しみです。聞くのに集中して、暑さを忘れます。

清水 浩一さん 加藤さん、卓話楽しみです。

加藤 祐司さん 今日は「文字文化とひらがな」というテーマで卓話をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

- 安齋治一郎さん 加藤さん、卓話たのしみにしてました。宜しくお願ひします。
- 赤坂 匠康さん 加藤さん、本日の卓話とても楽しみです。よろしくお願ひします。
- 橋本 則彦さん 毎日暑い日が続いて体がもちません。加藤さん卓話楽しみでした。本日もよろしくお願ひします。
- 森田 淳一さん 加藤先生の卓話を楽しみにしていたのですが、途中早退になってしましました。申しわけございません。
- 吉田 昌弘さん 加藤さん、本日の卓話楽しみに参りました。どうぞよろしくお願ひ致します。
- 高田 徹さん 加藤祐司さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。楽しみにしております。
- 権田 功さん 暑い毎日が続きます。体調管理を大切に。
- 高倉 隆綱さん 本日早退の為。
- 豊田 康業さん 加藤さん、卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。
- 土師 賢一さん 加藤さん、本日の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願ひ致します。
- 清水雄一郎さん 加藤さん、本日の卓話楽しみにしております。ドジャース山本VSカブス今永の試合も楽しみです。
- 坂本 勝志さん 昨日はチャリティーゴルフ参加させていただきました。とても暑くて、汗もかきすぎて足がつりそうになりました。ですが、とても楽しいゴルフでした。ありがとうございました。
- 荻野 真仁さん W杯最終予選。埼スタの中国戦。アウェイのバーレーン戦大勝でしたね。何事にも物おじせず堂々と戦っている若い世代はたのもしいですね。

卓話 加藤 祐司（東陽）さん

皆さんこんにちは。先ほど会長の方から私の紹介が少しありましたので、新しい方のために簡単に補足説明だけさせていただき、早速話に入りたいと思います。資料を配付しましたが、1枚目の右下に私の自己紹介として書きました。ざっと読みますと、全日本書写書道教育研究会というのは、小中高大学の書写書道に携わっている先生方の全国組織です。60年前に組織され、その当時は全教科あったのですが、今残っているのは書写書道教育研究会だけです。あとはみんな校種別に独立してしまいました。2番目の全日本書道連盟常務理事とありますが、これは今のユネスコの世界遺産に書道をという推進母体です。これも全国組織です。



それから、日本武道館評議員これは1月5日に毎年日本武道館で書初大会、席書大会、全国から3000人ぐらい集まって、1日6回の交代で書きます。そのときの審査を務めています。それから東京学芸大学名誉教授とありますが、私34年間東京学芸大学にお世話になりました。初め、ここ寄居から通いきるかなと思いましたが、何とか勤め上げました。そしてその間、文部科学省の教科調査官を5年間しました。東京学芸大学というのは、文字通りの教員養成大学です。小中高の各教科の先生方の養成で、私が担当したのは高等学校の書道の免許を出す書道専攻で、30年間指導に携わったということです。もちろん小学校中学校の免許も、いわゆる副免として取れますのでそちらの方の指導も当たっています。それから、この文部科学省の教科調査官というのは、よく教科書調査官と間違えられますが、教科書調査官というのは、各教科の教科書が検定に合格するかどうかという中身について一生懸命調べる調査官です。私の方の教科調査官というのは、今日教科書に書かれている内容が各学年、全国津々浦々、きちんとそのレベル通り、教科書のレベルに達するだけの指導をしているか、指導内容とか指導方法について、小中高に行って、全国に指導するというようなことです。教科書等が改定になりますと、全国の教育委員会、教育長等に伝達を出して、そこで話をして、その教育方針を各都道府県の各学校長にさらに伝達するというような方法です。そして時折、それが全国できちんと行われているどうか、その実態調査にあちこち都道府県にお邪魔しています。それから日展会員。これは私が教育と離れた、いわゆる一般活動で書道を生業としていますので、展覧会にも出しているということです。それから千紫会の理事長とありますが、戦前は全国一斉の、国が定めた教科書しか使えなかった訳です。国定教科書ですが、その書道の教科書を書いた鈴木翠軒という先生がいます。この人が日本芸術院会員で文化功労者なのですが、その人が作った会が千紫会と言います。その千紫会に所属している私が、そこでたまたま理事長という役職を仰せつかっているということです。そして年に一度国立新美術館で6月から7月にかけて、展覧会をするのですが、その看板・案内板はアート・コアの安齋さんにお世話になっています。そして全国はがき筆文字展審査委員です。これ宮古島、沖縄の先にあります。以前はそこに行って審査をしていましたが、コロナの関係で、今は逆に向こうからこちらに来ています。ちょっと宮古島に行けなくなり残念です。それから日本書道美術館の講師とありますが、これは東上線ときわ台の駅の前に日本書道美術館があり、そこで時折話をしています。

自己紹介が少し長くなりましたが、また話の中でも必要があれば触れていくうと思います。

今日の資料はお手元にありますか。本日はそこにあるように文字文化と「ひらがな」というタイトルをつけました。これは、今月のロータリーの共通テーマが「基本教育と識字率向上月間並びにロータリーの友月間」とあります。そ

れに沿って会長さんの方から私の方に、今日はこういういうことに基づいて話をせよ、ということだと思いますので、このテーマに沿って、今日は卓話をしようと思います。

前回依頼を受けまして、7月20日のときに、新札の文字の使われ方が、漢数字が後退してしまって、算用数字が前面に大きくなつた。これは国際化の波でしょうか。これだけ多くの国々の人が行き来する、そういった日本で使われる紙幣について、おそらく漢数字はわかりにくい。それよりも算用数字の方が1000とか10000とか、数字がその新札の前面に出てきた方が、万人わかりやすいので、これはやむを得ないのかなという話をしましたが、これも一つの文字文化として、一つの流れとして受け止めなければいけないと思っています。私自身、漢字仮名を専門とする者からすると、「え、漢字がこんなに小さくなっちゃつた。」と少し寂しい気はするのですが、一つの流れといいましょうか、やむを得ないだろうと思いながら、新札を今も眺めています。

今日は、その漢字から派生した仮名について話をしたいと思います。今日の資料に女という字の成り立ちについてあります。専門的な話はまた後ほどすることにします。文字の発生から、現在の仮名に至るまでどのぐらいの年数が経っているのかということを、ざっと見ていただくために堅苦しい話になりますが、2枚目に図表を出しました。

お札でいうとマークです。印で押されたところに書かれた文字、篆書（てんしょ）です。それがだんだん文字が簡略化され、次に隸書（れいしょ）になってきます。その篆書というのは、その左の時代を見てもらうと、殷と周、上から2番目になりますが、秦の始皇帝のとき、万里の長城が築かれた頃の時代にこの書体が使われました。それが上から2番目の書体です。総裁の印というのがお金に書いてあります。後でお金を確かめもらうと、丸い中に総裁の印と書かれているのがわかります。その印が篆書というものです。それから1,000円とか5,000円、10,000円とか漢数字で書いてあります。それは隸書と言われています。これがずっと続いてきて、そしてその隸書から日本の漢字が、平安時代にだんだん中国から入ってきて、それが楷書・行書・草書と今使われている字体になってきます。そういうものは、平安時代のかな文学等が大きく影響しています。国風文化の一つとして筆文字が出てきましたが、あの頃の生活様式が今の日本の仮名文字を発生、進歩させ、定着してきました。それが現在の、文字文化ということです。文化と文明の違いですが、文化というのは、いわゆる土地、あるいは時間、それが一緒に継続されて今日に伝わっているものです。文明というのは、そのどちらかが欠けてしまいます。その土地だけ、その時間帯だけに伝わるもののが文明です。両方、時間と土地、それらが一緒につつと今まで引き継がれているものが文化です。文字文化というのは、このころからずっと3000年の歴史、中国で発生した漢字が日本に伝わって、時の流れも越えて、今我々が使っている漢字と仮名、それが文字文化と言つて

も良いと思います。今日はその漢字ではなく、ひらがなとカタカナのことについて、主に焦点を当ててお話ししようと思います。

プリントの方、最初1枚目の1から話しますと、「ユネスコ無形文化遺産登録に向けて」とありますが、おそらく認可されるのはあと1年半先になるだろうと言われています。今、中国の漢字はもう既に中国で認定を取っています。それに遅ればせながら日本の文字、書道です。和食は、特に何だと聞かれた場合、日本政府が答えたのはお雑煮ということです。全国津々浦々、この食事はなされていますよ、ということです。では書道の場合はどうですかと言わされた場合に、「書き初め」を例に出しました。「書き初め」は、全国の小中高等学校でお正月等に行われる行事である、そういうことで意識づけといいましょうか、遺産登録を進めているわけです。そこで（1）ひらがなの場合は1音1字の制定です。ここに変体仮名と書きましたけれども、例えば最初に見ていたいた「女」という字からひながなの「め」という字が生まれました。女を早書き（続書き）してもらうと、ひらがなの「め」になります。カタカナのメは、そこからどこを取ればカタカナのメになるでしょう。2画目の左払いの部分と、3画目の最後の部分を取って、カタカナの「メ」が作されました。どういうことかというと、例えば今、五十音でいうえおとあり、「あ」といえば皆さん安心の「安」ですよね。ところがそれが決まる前、明治の頃まで平安からずっと、「あ」というと、アジアの「亜」か、阿倍の「阿」か、要するに「あ」と呼べるものは全部使えました。それでは学校教育等も安定しないということで、「1音1字」一つの音に対して一つの文字を決めました。それが1900年です。明治33年。そこで学校教育で、この「あ」といえばこの「安」を指導してください。ひらがなはこの「あ」です。カタカナはこの「ア」です、と50音を示しました。それが今日に続いている訳です。だから1900年、ちょうどそのときに、学校教育制度、全国津々浦々1音1字が制定されました。それが今に続いています。ところが、その使われ方がプリントにあるように、楚者とか寿し、お手茂登（箸袋）、おしる古とかありますが、今もこういった文字を道を歩いているとのれん等で目にします。なぜこれがお楚者（そば）なんだろう、今使っていないじゃないかと思うかも知れません。しかしそれは制定される以前から、我々は昭和、平成、令和を生きています。その前には大正もあります。さすがに大正の人はいなくなつたかな。その3世代が住んでいたら、文字文化としては、その老舗と言われるところは古い文字、それをそのまま伝統として使っています。それが今日に残っているということです。

その下に「あめ」と書きました。これは私の失敗談なのですが、今からもう20年ぐらい前でしょうか、大学にいた頃です。今も続いているが日本と中国と韓国の大学で相互交流をしようということで、そのときに日本から来て上海師範大学で何か話をしてくれと指名され、行って話を

しました。日本語で講演しましたが、そのときに日本の文字について話をしました。中国から輸入された漢字から、平安時代にひらがなが生まれ、そして後に仮名が生まれて、そして制定されてきたという話をしました。そのときの例がいけませんでした。雨という字を引き合いに出していました。我々日本人はイントネーションによって、上を強くしたり、下を強くしたりすることによって、意味が違います。「雨が降ってきた」「飴ちようだい。」「橋と箸」いろいろあります。やはりこの例を出したのがいけなかつたのですが、先ほどの女という字です。中国人からすると、あめの「あ」は「安い」という字で、「め」という字は女なのです。そして雨雨降れ降れ♪と言ったら、安い女が降れ降れという事になります。今だったらこれはちょっと使えなかったと思うのですが、今から20年前ですからね、何とか皆さん笑って許してくれましたが、「雨が降ってきた」「安い女が降ってきた」どういうことだとありますからね。しまったな、とそのときは思いましたが、一笑に付したという失敗談もありました。



そして、今このカナが、あるいは漢字がどのように現代に生きているかというと、さらに進化してプリントの3枚目に書いたように、一つの画を共有して、横文字で言うと MITSUKOSHI とか MIZUHO とかです。私別にこの企業関係していません。ロゴで一つの角が共有されています。三越のローマ字はどうでしょう。UとKの間が共有です。一つの線で、縦画で両方使っています。みずほ銀行はどうでしょう。やはりUとHと一緒に使われています。省略されていますよね。大きな看板ですので、皆さんも当然気づいていると思います。

そして、その印鑑や平安とかありますが、こういった流れは歴史を紐解いてみると、そこに「ひと」とありますけど、百人一首で「読み人知らず」という作者名があります。誰が読んだかわからない。そのときの署名の「読み人知らず」の「ひと」が繋がっています。それから百人一首で、100あるうちに「～けり」で終わる歌が12, 3あるらしいです。その「～けり」が来ると、もう終わりだ、その歌が終わるということで、けりをつけるということが生まれたらしいです。その「けり」にも、「け」の最終画と「り」の初めが共有して、1本で「けり」で終わっています。だから、平安時代から使われていた「読み人知らず」とか「～けり」とかそういうものが、今も横文字になって、MITSUKOSHI や MIZUHO に使われています。こういったことも一つの文字文化として仮借連綿、これからずっと続していくのかなと思っております。ちなみに、ちょっと逸れますが、三越のところに丸越と書いてあります。これまた漢字の話になりますが、髭文字です。最終画

が髭になっています。その髭の数を数えると、さすが三越です。3本、5本、7本。七五三になっています。

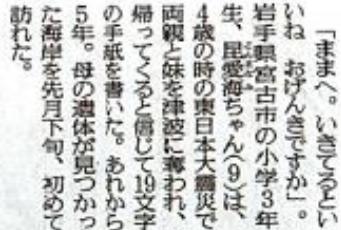


では閑話休題、クイズの時間です。この字はお孫さんたち、あるいはお子さんたちに何て読む?とクイズを出すと良いです。これは私が小学生の頃に覚えたクイズで、まだ使っています。もういい加減、叱られそうです。これ何と読むと思いますか。「め」と言う字が少し中途半端です。そうです。「でたらめ。」です。1本長く出すと、「め」になります。なので「でたら・め」です。今日帰りましたら、お孫さんやお子さんと遊んでいただければと思いまそれから、この手書き文字について、プリントの2番です。野口シカの手紙。野口英世のお母さんです。小学校ももちろん出でていません。野口英世が亡してアメリカに行って、なかなか帰ってきません。そしてお母さんは、囲炉裏の灰に火箸を筆代わりにして「いろは」を学習します。小学校も出でないのでお母さんは字も書けません。それを囲炉裏の灰や火鉢でもって一生懸命勉強して、野口英世に手紙を書きます。それが4枚目最後のプリントです。これは野口英世記念館に行きますと、実際に書かれたものの複製品が売っています。実際に野口シカ、野口英世のお母さんが、火鉢の灰に何回も書いて覚えたのです。それがこの手紙の文章として残っています。「おまいの世話にわ、みなたまげました。…」出世にはということでしょう。・・・そして終わりから4行目。「早く来てください。早く来てください。」早く帰ってきてください。そして西に向いては拝み、東を向いては拝んでいます。そういった母の切々たる願いを、子供の野口英世に宛ててこの手紙を出すわけです。そして野口英世はその後帰国しますが、日本全国、津々浦々講演をして歩く際には、必ずお母さんと一緒に回ったといいます。このお母さんの文字が読みにくいですが、囲炉裏の灰で覚えた文字です。これには私も非常に心打をされたので、皆さんに紹介したいと思いここに載せました。

それからもう一つ、3枚目のプリントです。新聞記事ですが、この愛美ちゃん、東日本大震災でお母さんが帰ってこない。そのときに一生懸命、自分が覚えた字で、お母さんがまだ見つかっていないかったので、見つけてほしい、そんな願いをかけて「生きてるといいね、お元気ですか」と手紙を書きました。うつ伏して寝ています。そのあと残念なことにお母さんはご遺体で発見されましたが、見つかるまでの間の、子供の切々たる願いです。やっぱり筆文字、手で書きました。そこにやはり、生きる力というか、そういうものが宿っていると思いますので紹介しました。

口シカ子刀自生之筆之手武
母治西ナムニ一月三日より附

おまえのアーティストが何者かわからぬ
のやうなやうだ。おまえのアーティスト
たるアーティストは、アーティストのアーティ
ストだ。アーティストのアーティストはアーテ
リストだ。アーティストのアーティストのアーテ
リストはアーティストだ。アーティストのアーテ
リストのアーティストはアーティストだ。
アーティストのアーティストのアーティスト
のアーティストはアーティストだ。アーティ
ストのアーティストのアーティストのアーテ
リストはアーティストだ。アーティストのアーテ
リストのアーティストのアーティストはアーテ
リストだ。アーティストのアーティストのアーテ
リストのアーティストはアーティストだ。
アーティストのアーティストのアーティスト
のアーティストのアーティストはアーティストだ。
アーティストのアーティストのアーティスト
のアーティストのアーティストのアーティスト
はアーティストだ。アーティストのアーティ
ストのアーティストのアーティストのアーテ
リストのアーティストのアーティストはアーテ
リストだ。アーティストのアーティストのアーテ
リストのアーティストのアーティストのアーテ
リストはアーティストだ。アーティストのアーテ
リストのアーティストのアーティストのアーテ
リストのアーティストはアーティストだ。
アーティストのアーティストのアーティスト
のアーティストのアーティストのアーティスト
のアーティストはアーティストだ。



2011年3月22日

覚えたばかりの平仮名で「ままへ。いきてるといいね。おげん道ですか」と手紙を書いた螢ちゃん。

それから3番目の「いい字とうまい字」とありますが、いい字というのは、小中学校で書の3要素といいますけれども、まず字形、字の形です。それが上手い。それから筆遣いがよくできている。そして全体構成。字配りがいい。紙面に対して、うまく中心が通っているとか文字の大小ができる。それが三つの要素です。字形と筆遣い、全体構成。これがしっかりと書けているものを良しとして、小学校は基準判断にします。

ところが、うまい字となると、「この字うまいね」というのは、高等学校になると今度は芸術科書道ですから、芸術書道となった場合には、「この線、勢いがあるね。」「明るいね。」「余白が生きているね。」今日の天気のようにいろいろな表現ができます。それがいわゆる情趣ですね、情熱の情に趣です。そういうことまで評価するようにな

ります。なかなか目に見えない、書いた所の黒じやなくて白を見ます。白を判断するようになります。それが高等学校での芸術科、書道という見方になります。ですから、ある程度字の形が乱っていても歪んでいても、それがざっくり言ってしまうと「いい個性だね。」とか、「曲がっているけれども、勢いが、伸びる力がある。」とかです。字の形、筆遣いはうまくないけども、基本通りはできてないけども、ただその線には力強さがある。

心を込めて書いた粘りだなとか、そういうしたものまで、その書かれた文字からは見る人が見るとわかります。そこを評価するようになります。それが小中学校の書写の授業と高等学校の芸術の大きな違いです。

だからといって、初めから基礎基本をないがしろにしていいか、というとそうではないです。しっかりと基礎、土台の上に立ってして表現されなければ、1回目はちょっと奇抜でいいかもしませんが、2回目になると、通用しません。「なんだ、またこれか。変化できないの。」となります。ですから基礎基本の上に立って書かなければいけないということです。

それから、4番目。A1と筆のつぶやきです。2枚目のプリントです。これは小学校4年生の子供が、こんな詞を書いてくれました。出所はおそらく20年ぐらい前の朝日新聞だと思います。子供の詩です。「自慢の毛をすみで真っ黒にそめて、真っ白な半紙に書いてあげます。特にひらがなは優しい気持ちになりきって書いてあげます。」どうでしょうか。よく七五三と言われますが、我々は333です。まず三つ子の魂…だいたい3歳で文字を書くことを覚え始めます。それから3年後6歳、小学校に入学します。9歳で小学校3年生から4年生、学校で書写、初めて筆をとります。その3年後、6年生あるいは中学1年生になって、楷書から行書、小学校から中学校に行くと、新しい文字の形を勉強します。そのようにですね、大体3年刻みで我々の文字学習というのは進んでいます。そのときに、こ

の小学校3年生4年生のこの筆のつぶやきはどうでしょう。初めて筆を持って書くときに、こういった純粋な気持ち、私はこれに心打たれて文章にしてみました。時間が足りませんので、1行だけ言いますが、「子」育ては「個」育てと言われる。語呂合わせのようなものです。子供育ては個性、個々人の育つと言われる。他者との違いや自己流が個性とみなされる傾向がある。「個」とは本来自分の良さに向かって一生懸命頑張るという主体性の側面にあるものである。この詞を元にして文章を書かせていただいたのですが、この解説文は後でゆっくり読んでください。

昨日ニュースを見ましたら、よく漢字で書いて読み方を平仮名で表すキラキラネームというのあります。漢字に対するキラキラネームを受け付けないというニュースが流れました。これからは当てずっぽうなキラキラネームという漢字の読み方と全然違ってくるようなことが、やはり時代の流れとして、文字文化としておかしいと感じ始めたのでしょうか。それがある程度元に戻るのかなと私はそういう思いで、昨日のキラキラネームの制限、ふりがなの平仮名の使い方について、私は大いに賛成したいと思っています。時間ですので、話を終わりたいと思いますけども、仮名文字について大まかな話しかできませんでしたが、まとめますと、日本の識字率の高さは、以上お話をしました「仮名文字」の力に負うところが大きかったのです。以上をもちまして、私の話を終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

会長 松本 幸男さん

加藤さん、貴重なお話をありがとうございました。文字にも個性がないと評価できない、ただ、個性を生かすのも先ずは基本が大事ということで、いろいろなことに結びつくのではないかと思いました。私もこれからは文字を書くことに集中し、心身ともに日本の文化を大切にしていきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

点鐘 会長 松本 幸男さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2024.9.11 会長 松本 幸男 会報・雑誌委員長 加藤 祐司
N o. 7 幹事 下条 誠 副委員長 柴崎 猛

- ・例会日時 毎週（水）12:30～13:30
- ・例会場 Spark(寄居町商工会)
- ・住所 寄居町寄居1228
- ・TEL 048(581)2468
- ・FAX 048(581)3530